

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 主催

企画・監修 渡邊守章

春秋座

2011年2月6日[日]

14:00開演(13:30開場)  
※本公演の前に14時よりプレトークを行います  
京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学内)

# 能と狂言



【邯鄲】(野村萬斎) 撮影=政川慎治



【邯鄲】(観世鏡之丞) 撮影=政川慎治



【舟渡智】(野村万作)

プレトーク 出演 松岡心平(能楽研究、東京大学大学院教授)  
渡邊守章(演出家、京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター所長)

狂言 舟渡智

子方 舞童 片山清愛  
シテ 廬生 観世鏡之丞  
能 邯鄲

シテ 船頭・男 野村万作

ワキツレ 大臣 廣谷和夫  
ワキ 勅使 福王和幸  
ワキツレ 大臣 森本幸治  
ワキツレ 奥昇 中村宣成  
ワキツレ 奥昇 喜多雅人

アイ 宿ノ女主人 野村萬斎

後見 清水寛二  
青木道喜

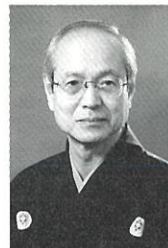
地謡  
武田大志 味方玄  
深野貴彦 柴田稔  
大江信行 片山九郎右衛門  
分林道治 浦田保親  
(清司改め)

アド 智 高野和憲  
小アド 姑 石田幸雄

大鼓 亀井広忠 大鼓 前川光範  
小鼓 大倉源次郎 笛 藤田六郎兵衛



人間国宝 野村 万作



野村 萬斎



石田 幸雄



観世 鏡之丞



片山 九郎右衛門 (清司改め)



福王 和幸



藤田 六郎兵衛



大倉 源次郎



亀井 広忠



前川 光範



□ 入場料〈全席指定〉  
 〈S席〉一般 7,000円  
 シニア 6,500円  
 友の会 6,000円  
 〈A席〉一般 6,000円  
 シニア 5,500円  
 友の会 5,000円

〈学生&ユース席〉2,500円

※シニアは60歳以上、ユースは25歳以下  
 ※シニア・学生・ユースは要証明書提示

□ チケット発売日

2010年11月10日(水) 友の会先行発売  
 2010年11月11日(木) 一般発売

□ チケット取扱い

● 京都芸術劇場チケットセンター  
 窓口販売・電話予約  
 Tel 075-791-8240(平日10時~17時)



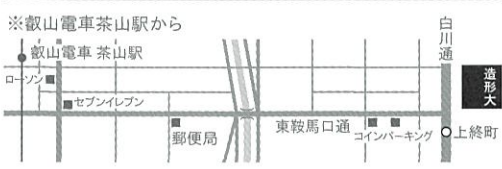
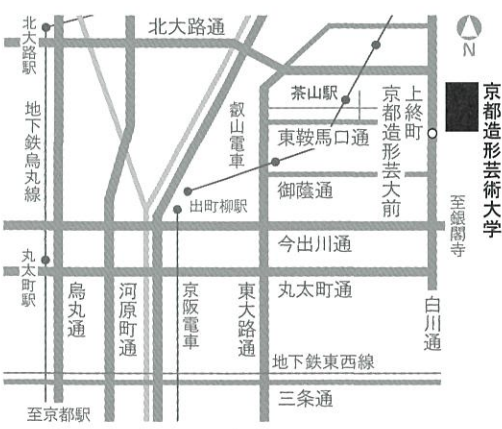
● 劇場オンラインチケットストア  
 パソコンから <http://www.k-pac.org/>  
 携帯電話から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>  
 ※要会員登録(無料)

● 電子チケットびあ  
 Tel 0570-02-9999 Pコード: 408-276

● イープラス  
<http://eplus.jp>

□ 主催・お問合せ先  
 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター  
 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116  
 Tel 075-791-8199

京都芸術劇場 春秋座 [京都造形芸術大学内]  
 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116



- JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から  
 京都市バス5番「岩倉」行き乗車、  
 「上終町・京都造形芸大前」下車  
 (京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)
- 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から  
 京都市バス204循環に乗車、  
 「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)
- 京阪電車出町柳駅から  
 叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの  
 ご来場はお断りします。

## 2011年2月6日[日] 14:00開演(13:30開場)

# 春秋座 能と狂言

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 主催 企画・監修——渡邊守章(京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター所長)

照明プラン——服部基(ライティングカンパニーあかり組)  
 照明オペレーター——林悟(ライティングカンパニーあかり組)  
 舞台監督——小坂部恵次  
 協力——鏡仙会、万作の会、空中庭園

狂言「舟渡聲」は、「智入り」のために対岸へ渡ろうとする若者を、髭が自慢で大酒飲みの船頭が、若者が携えている酒を飲ませると言つて、様々舟を揺らして脅し、その酒樽を空にしてしまふ。しかし実はその若者が婿であり、対面しかねる舅を、女房のはからいで髭を剃つて対面させるといふ、舟中での動きも、舅の家での逆転も、多彩な喜劇味に溢れる狂言。

能「邯鄲」は、作者不詳の能だが、「人生は夢」という極めて普遍的な主題を、能でなければできないような構成・演出で展開した作品。中国の蜀の国に住む盧生という若者が、楚国の飛羊山に住むという聖(ひじり)に、人生の生き方・意味について教えを乞おうとして、邯鄲の里まで来る。邯鄲の宿の女主人が、不思議な教えを授けてくれるという枕を盧生に渡し、粟の飯の炊けるまで、一眠りすることを勧める。その枕に盧生が眠るや、たちまち楚国の大臣が現れ、皇帝が崩御して、盧生がその後継者になったと告げる。廷臣、舞人など、華やかな人物に囲まれ、盧生は、皇帝としての栄華を味わい尽くす。そこに、宿の女主人が再び現れ、粟の飯が炊けたことを告げ、盧生の見た五十年の皇帝の栄華は、「粟の飯が炊けるまでの一睡の間の夢」に過ぎなかつたことを知り、悟りを得る。

能は、何も装置のない空間に、音楽と舞によつて盧生の夢を絢爛豪華に出現させ、またそれをまさに夢幻として一瞬のうちに消し去つて見せる。舞台芸術の精髓を一曲に凝縮したような魅惑の作品である。